

1.調査概要

◆調査目的

福島第一原子力発電所1号機原子炉建屋内部における建屋躯体の損傷状況の把握を目的とする。

◆実施内容

原子炉建屋内は高線量のため、被ばく線量低減に配慮した調査方法として、カメラ・照明を取り付けた昇降装置を機器ハッチ開口下の1階床に設置し、遠隔操作で周囲の建屋躯体を撮影した。

◆調査対象 1号機原子炉建屋 機器ハッチ周りの建屋躯体（2階～4階）

◆実施日 12月4日（水），5日（木）

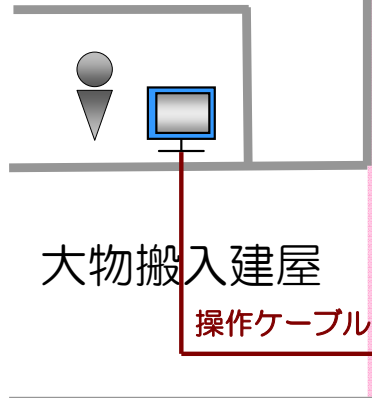
◆調査体制 当社社員：1人 協力企業：8人

2.調査イメージ

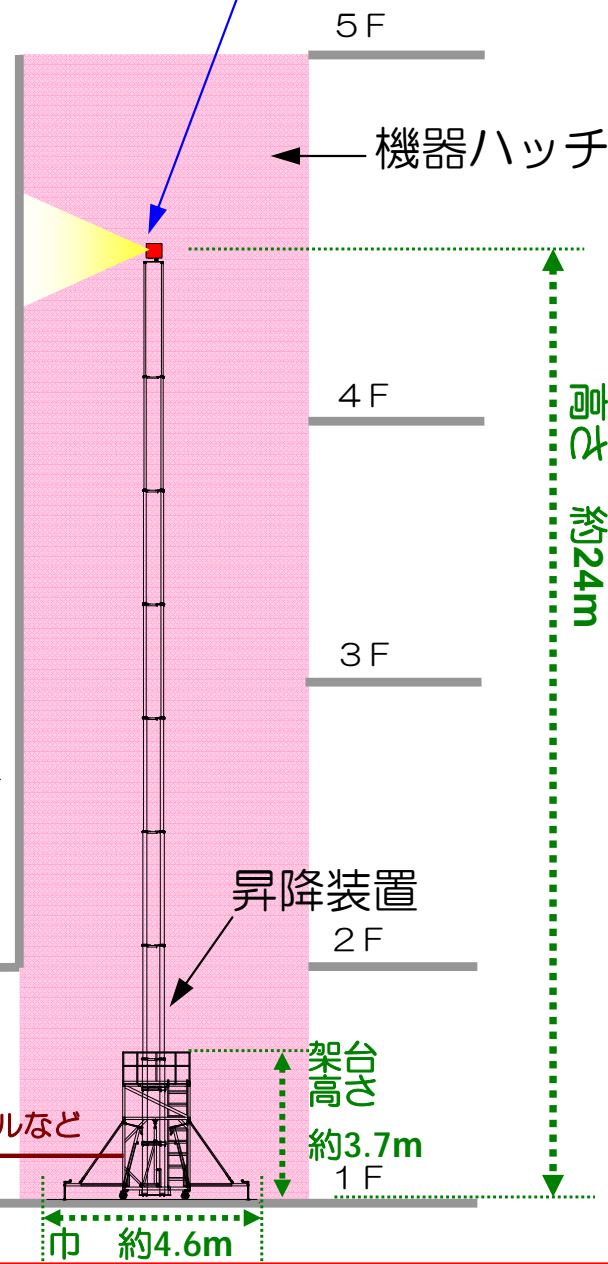


【昇降装置】

外壁（西側）
 操作員：2人
 作業員：6人



カメラ+照明装置
 +ビデオカメラ

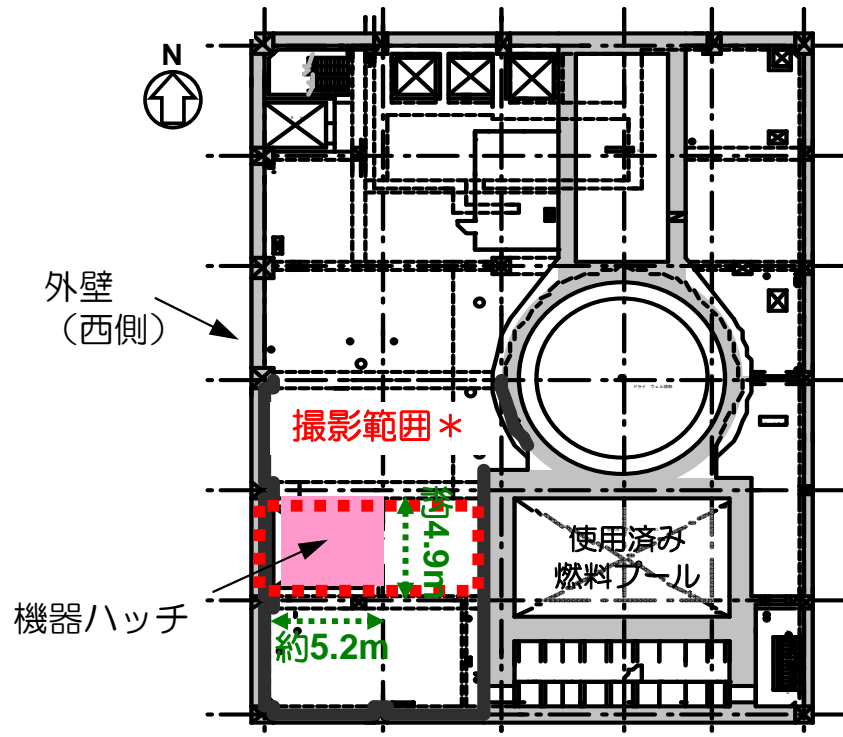


□カメラ+照明装置

- ・カメラ：2台（1台予備）
- ・ビデオカメラ（予備的使用）
- ・照明装置：2台

□昇降装置（エア方式伸縮ポール）

- ・伸縮最高：（高さ）約24m
- ・重量：約650kg



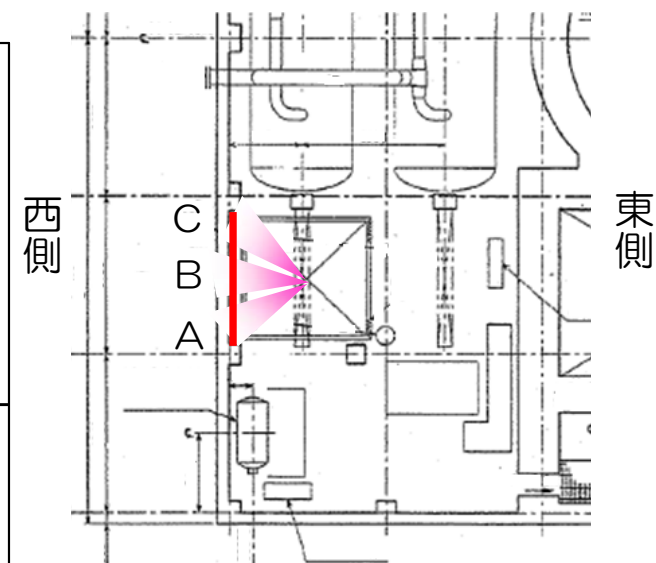
【4階平面】

* 既存設備が配置されているため、壁面等の撮影可能な範囲は限定される。

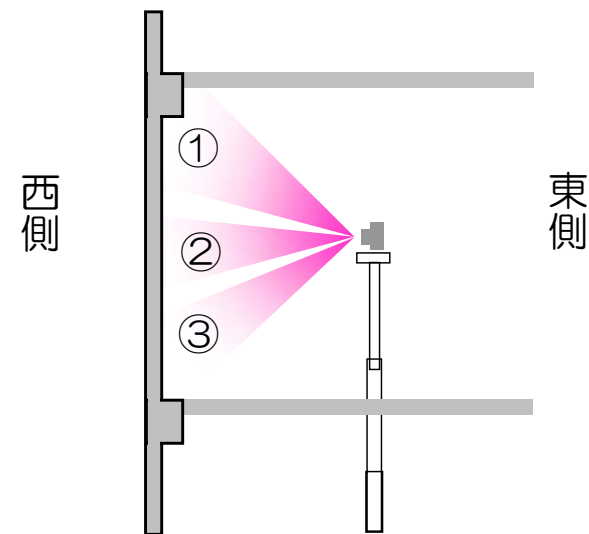
3.撮影結果報告 (4階)



【4階 機器ハッチ 西側壁面】

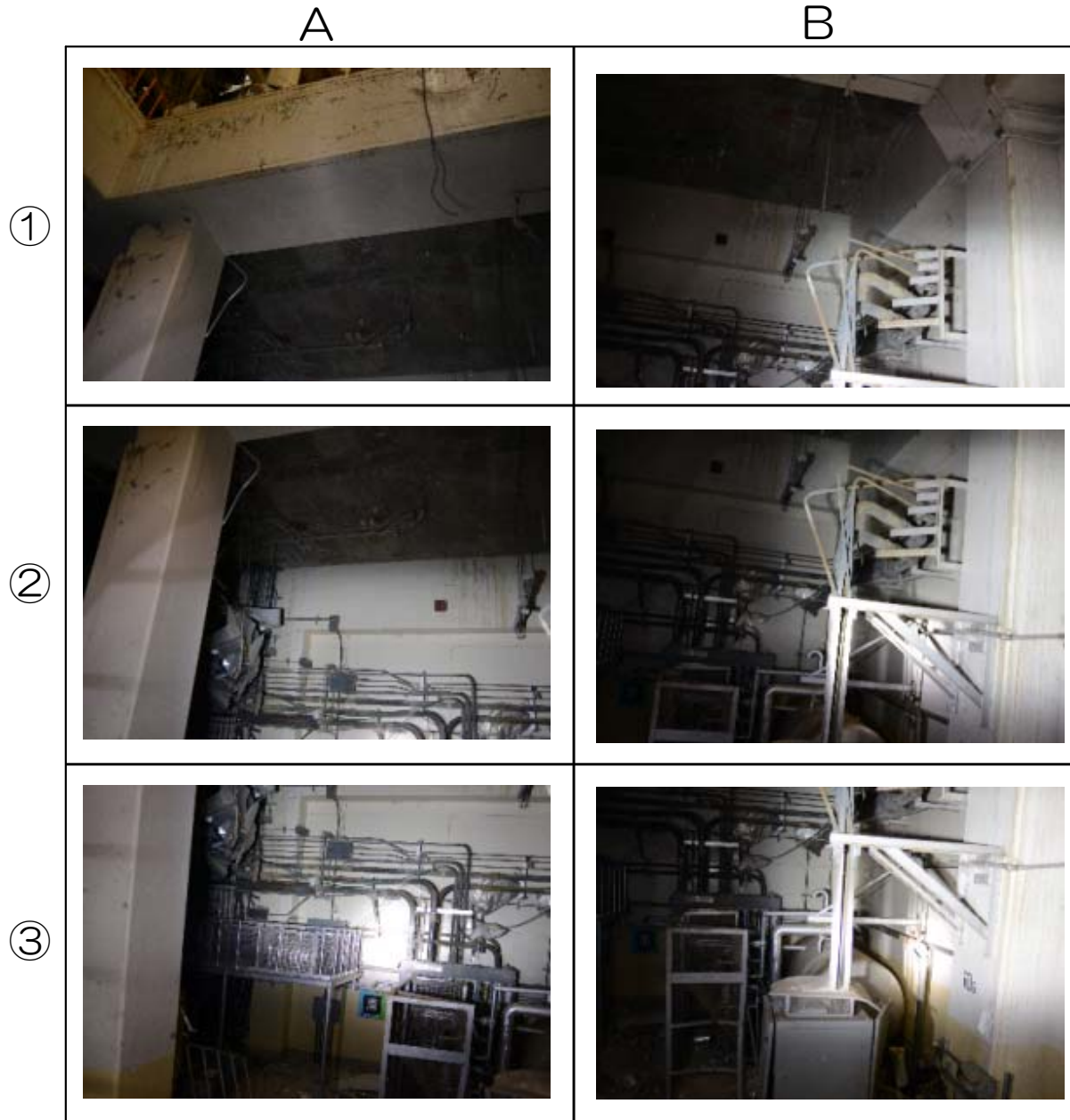


【4階 平面】

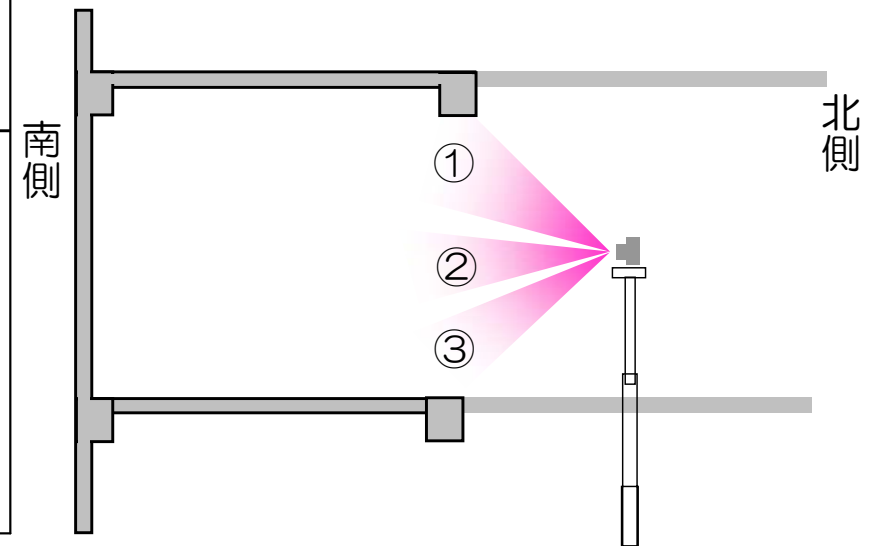
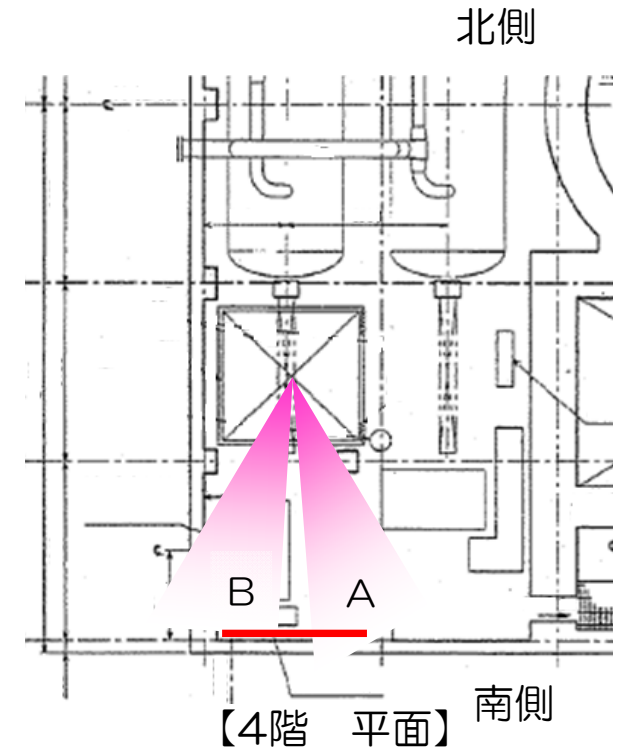


【4階 断面】

3.撮影結果報告 (4階)

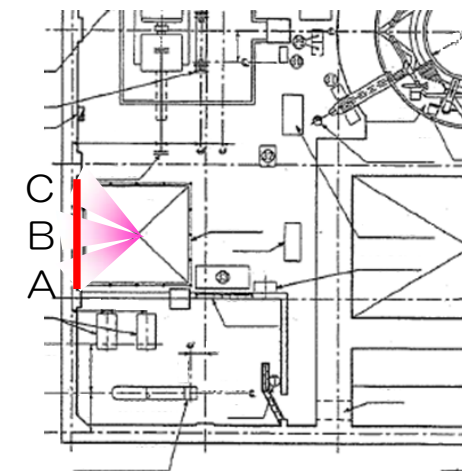
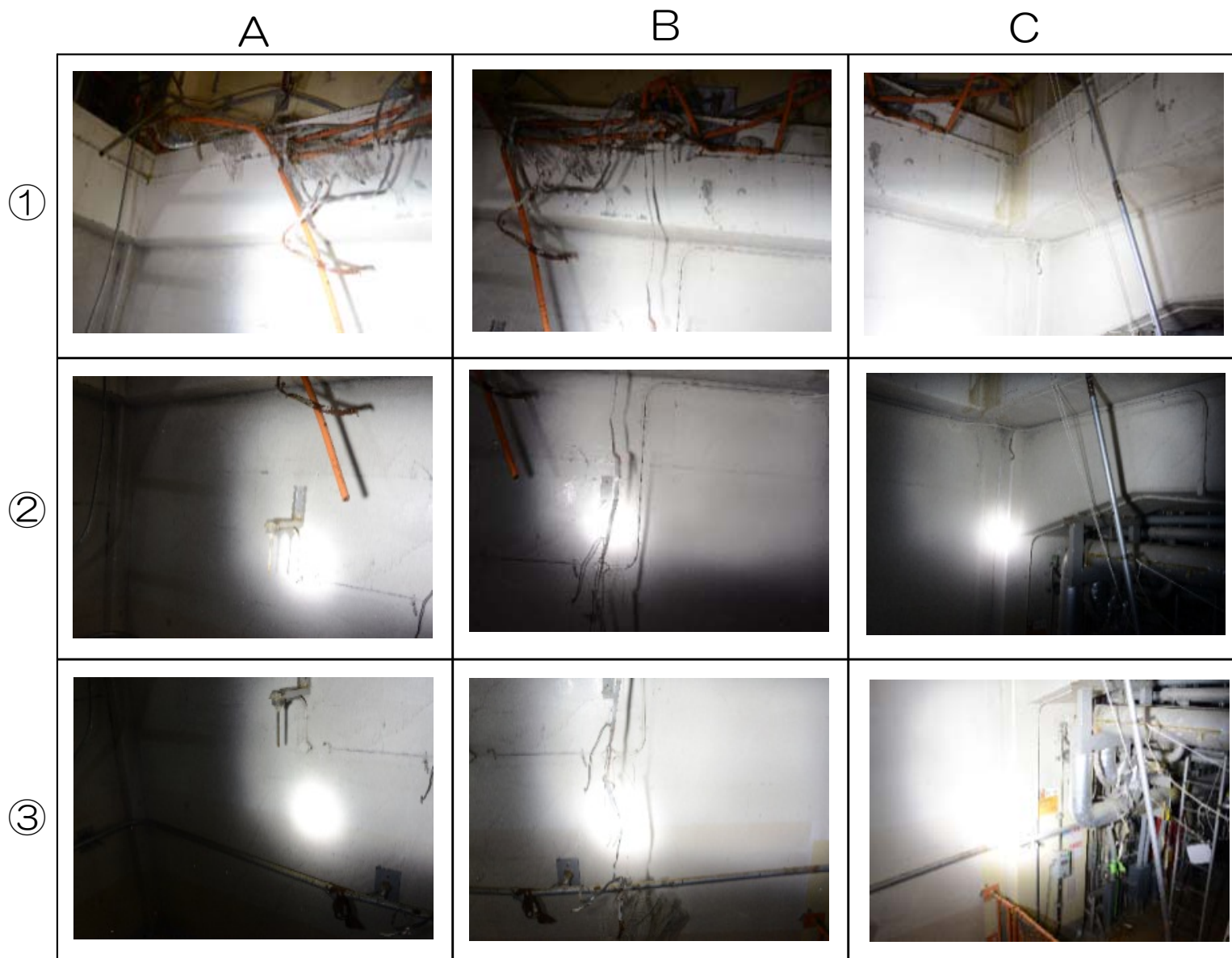


【4階 機器ハッチ 南側壁面】

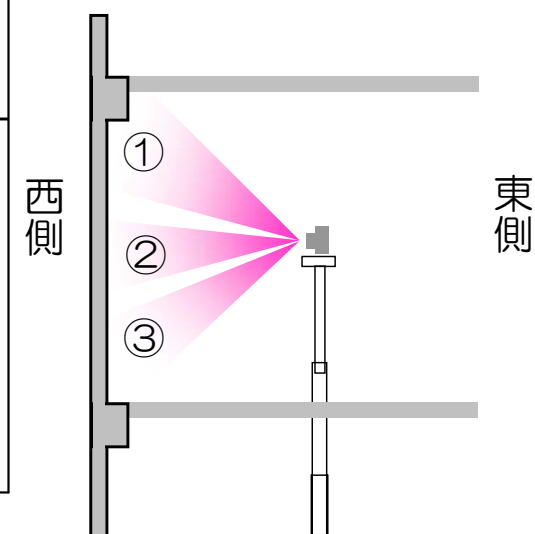


【4階 断面】

3.撮影結果報告 (3階)



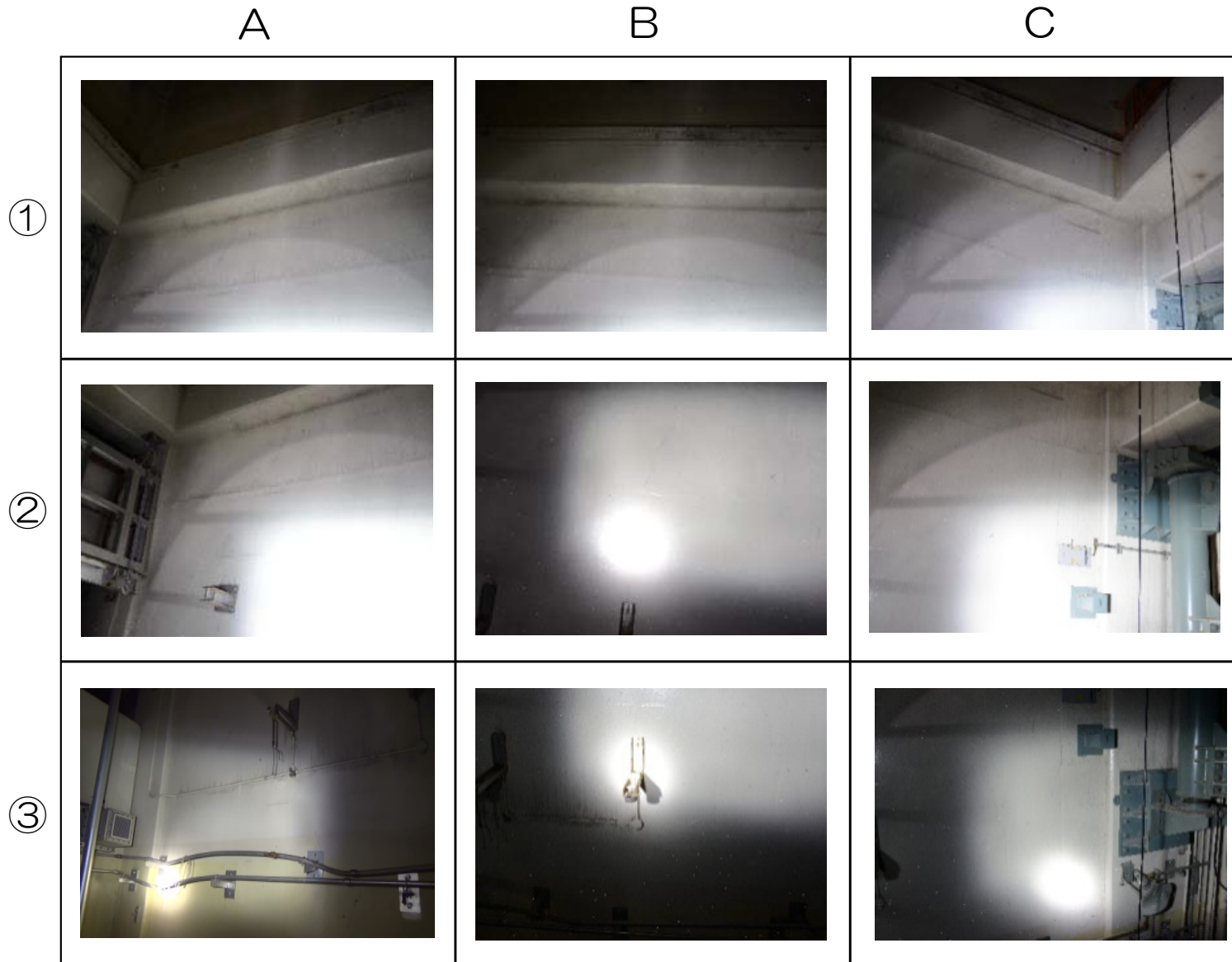
【3階 平面】



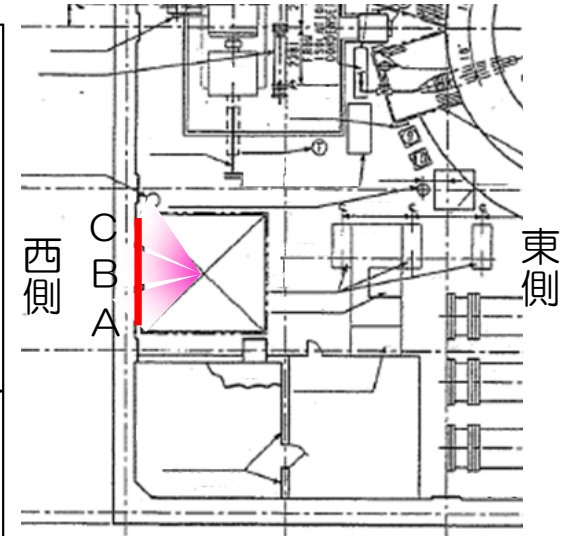
【3階 断面】

【3階 機器ハッチ 西側壁面】

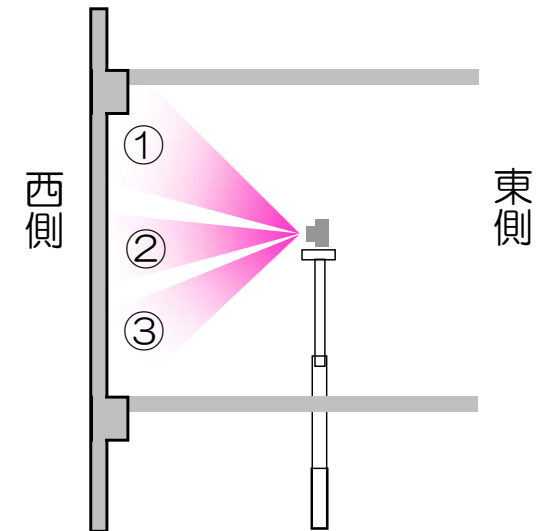
3. 撮影結果報告 (2階)



【2階 機器ハッチ 西側壁面】



【2階 平面】



【2階 断面】

4.まとめ

- ・各階の壁面を撮影したところ、大きな損傷は見られなかった。
- ・今後は、今回の調査結果を耐震安全性評価に反映する予定。

<参考> 使用済燃料プールからの燃料取り出し・燃料デブリ取り出しの計画（1号機）

第1期		第2期							第3期	
2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度以降
	建屋カバー解体	HP1-1	HP1-1 2014年度上半期							
プラン①:	ガレキ撤去等	建屋カバー改造・復旧	燃料取出	建屋カバー撤去・本格コンテナ設置等	燃料デブリ取出					
プラン②:	ガレキ撤去等	上部コンテナ設置	燃料取出	コンテナ改造等	燃料デブリ取出					
プラン③:	ガレキ撤去等	燃取カバー設置	燃料取出	燃取カバー撤去・本格コンテナ設置等	燃料デブリ取出					

判断ポイント(HP1-1): 2014年度上半期における判断フロー

